

# はにい 「…い、いいです。」 平成29年12月18日

ある小学校の3年生の教室

『では、自分が考えた $69 \div 3$ の計算の仕方を発表してくれるかな。』

「わたしは、かけ算の3の段で考え、 $3 \times 23 = 69$ となるので、答えは23です。」

「いいです。」と多くの声がする中、「でも、なんか…。説明が足りない気がする。」とつぶやく声が聞こえた。

「ぼくは、69を60と9に分けて考えて、 $60 \div 3 = 20$ と $9 \div 3 = 3$ となって、答えは $20 + 3$ で23です。」

「いいです！」と先ほどより元気のいい声があがった。

『他にありますか？』

「はい。」ある子が、 $70 \div 3 = 23$ あまり1と黒板に書いた。

70という数字になんだ、なんだという雰囲気があった。

「ぼくは、69を70とみて、 $70 \div 3 = 23$ あまり1としました。1あまるから、この1を70から引くと69になる。だから $69 \div 3 = 23$ となりました。」

「…い、いいです。」という勢いのない返事が静かに響く。

『ほんとに、今の説明わかった？』と先生が口を開いた。

その声を聞き一人の子が「よくわからない」と言ったとたん、子どもたちの素直な気持ちが表れ始めた。

「何となくわかるよ。」「分かるような気がする…。」「やっぱり分からないかな。」

先生は子どもたちの様子を見て、『おもしろい考えだよ。考えて考えて出したものだからね。でも、今はちょっと置いといていいかな？』と言った後、先ほど、「でも、なんか。」といった子が前に出てくる。

黒板に色紙を貼りながら、「60は10枚の束が6つ。これを3つに分ける。のこりの9枚を3つに分ける。そうすると一つ分は23となります」

「いいです！！」元気のいい声が教室に響き渡り、説明した子は満面の笑みで席に戻る。

『分かりやすい説明だったね。69÷3をどんな考え方でやるとやりやすいか、わかったかな。じゃあ次は、さっき置いておいたやり方を考えてみる？』

